

# 平成 30 年度第3回常磐公園の緑を考える集い 開催結果

日時 : 平成 31 年 3 月 5 日 (火) 14:00~15:40  
会場 : 旭川市役所第三庁舎 2 階会議室  
出席者 : 市内在住の市民 6 名  
旭川市土木部公園みどり課 6 名  
旭川市公園緑地協会 2 名  
有識者 (常磐公園自然環境調査ワークショップ参加者) 1 名  
配付資料 : 説明資料 (当日配布)

## I 開催内容

- 1 開会
- 2 オリエンテーション
- 3 「集い」の変遷・総括
- 5 市民協働による維持管理
- 6 閉会

## II 会議録

### 1 「集い」の変遷・総括

- ・PR 看板の設置について、ブッシュゾーンや緩傾斜化区域の下草管理について来園者から質問を受けたことがある。景観面の配慮もわかるが、小さくてもよいので説明周知用看板は必要ではないか。また、常磐公園にはコウモリ (ヤカンタン) がいるので初めて来園された方でもそれがわかるようにしたらいと思う。
- ・パンフレットの作成について、現在あるパンフレットに常磐公園特有の自然環境情報があると PR になっていいと思う。常磐公園の魅力をみんなに知って欲しい。
- ・子ども向け学習会について、今後ブッシュゾーンの意味や目的の説明を題材として夏休みに親子観察会を計画してはいいのでは。

### 2 市民協働による維持管理

- ・提案している維持管理項目について来年度から実施することに異議はない。
- ・植樹活動をしてはどうか。→ (市回答) 現在のところ、本活動では自然更新ゾーンの樹木を移植する以外の植樹を予定はしていない。ただし、例えばサクラが自生するとは考えづらいので、そういった樹種を植樹することはいいのかもしれない。
- ・市と参加者が共に公園を見廻り、公園の現状をきちんと把握することが大事。実生の存在確認ができたり、今後の維持管理方針に役立てられると思う。
- ・小ガモの数が明らかに減っている時がある。大型の鳥などに襲われている可能性があるので、成長するまで身を隠せるような場所を作れないだろうか。(草や木枠などを使って)
- ・アズマヒキガエルの駆除について、卵やオタマジャクシであれば捕獲は比較的簡単。親子で参加できるイベントにしてみてもどうだろうか。